

瀬山亜津咲

瀬山紀子にクラシックバレエを学び、

その後国立バレエスタジオにて石沢秀子に師事。

アメリカ、ノースカロライナ・スクール・オブ・ジ・アーツ留学を経て、

テキサスのバレエ・オースティン、メキシコ、キューバ等で研鑽を積む。

その後ドイツに渡り、フォルクヴァング芸術大学で学んだ後、

2000年にヴッパタール舞踊団に入団。以来、ピナ・バウシュの数多くの創作に参加し、

またレパートリー作品を踊る。映画『Pina/ピナ・バウシュ 踊り続けるいのち』

(ヴィム・ヴェンダース監督/2011年公開)にも出演している。

2016年 ピナ・バウシュ財団、ピナ・バウシュヴッパタール舞踊団とバイエルン国立

(州立)歌劇場バレエ団(ミュンヘンバレエ)による共同プロデュース企画 " EIN STÜCK

VON PINA BAUSCH IN MÜNCHEN"のリハーサルアシスタントをつとめる。

個人の活動では日本を始め世界各国でのワークショップ、さいたまゴールド・シアター ×

瀬山亜津咲の演出・振付を 2013年にワーキングプロセス公開を経て、2014年「KOMA」

を発表。同年、fabien prioville dance company のプロジェクト「time for us」

で夫 ファビアンプリオヴィルと共演。また同カンパニーの作品のアシスタントも行なっ

ている。

ファビアンプリオヴィル

アンジェ (フランス) 振付センター (CNDC) にて学ぶ。エドゥワール・ロックのラ・ラ・

ラ・ヒューマン・ステップス (カナダ)、フィリップ・ブランシャール (ストックホルム)

でダンサーとして活躍。1999年ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団に入団。2006年退団

後はフリーで活動、振付家としてもジョセフ・ナジ (Josef Nadj)、デイビス・フリーマ

ン (Davis Freeman) ら多数のアーティストと作品を創作。ドイツ、ニューヨークのジュ

リアード・スクールや日本、オーストラリア、マリ共和国などでも作品を発表。

2010年自身のカンパニーをドイツにて立ち上げ、2009年ソロ作品『Jailbreak Mind』

を始め数々の作品を発表、ルイズ・ルカヴァリエ、瀬山亜津咲などと共演。日本を始め、

世界各国で公演を行なっている。

日本では 2008年、2013年に認定 NPO 法人バレエノアとの作品「紙ひこうき

(kamihikouki)」「3B」を発表。奥秀太郎監督作品「星座」(2013年秋公開)にダンサー・

振付家の黒田育世と出演。

2015年 あうるすぽっと (公益財団法人としま未来文化財)、豊島区、An Creative との

国際共同制作でピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団出身のダンサーと日本人のアーティ

ストのコラボレーション「SOMA プロジェクト」を発表し、ドイツ公演も行っている。